

南陽市商工まつり 理科工作・実験教室

地域連携担当 大橋栄市

日 時：平成25年9月14日（土）
10:00～16:00

場 所：南陽市沖郷公民館（防災センター）

参加者数：児童数22名、保護者32名

実験題目：とことこ歩く目玉クリップ
2サークルローラー

指導者：大橋栄市（技術部統括技術長）
菊地新一（地域連携担当）
荒木芳春（安全衛生・エネルギー管理）
羽賀恵壽（地域連携担当）

地域産業振興イベントの商工まつりに理科工作・実験の体験ブースの依頼があり開催した。実施は午前と午後の2部制にし、各々定員を30名とし当日募集とした。今回は各自製作したものの競技会を開催し、入賞者には賞品を授与した。当日は幼稚園児から小学生までの参加があり、保護者も含め一生懸命工作に打ち込む姿と競技会での子供達の真剣な様子と歓声が印象的でした。



理科工作・実験教室 南陽市商工まつり 平成25年9月14日

「とことこ歩く目玉クリップ」

- ＊「ばら（鉄線）」を緩り固したりして差ばないこと。「安全キャップ」を必ずつけること。
- ＊「工作」時に「はさみで厚紙を切る時」は固めてすること。
- ＊準備するもの 目玉クリップ(2)・鉄線・ばら(鉄線、長さ25cm、太さ1mm)・えんぴつ・足型・はさみ・位置決めチューブ(2)・安全キャップ(2)・おりばし・セロテープ・銅製板

つくり方

1. 厚紙に、えんぴつで足型（半径9cm）をうつし、柄に沿ってはさみで切る（足を2枚作る）。
2. 足を目玉クリップではさむ。
3. ばら（鉄線）の両端に安全キャップを付ける。
4. おりばしの上にはばらをはさみ、中心を見つける。（えんぴつで目をつける）
5. 安全キャップを抜いて、位置決めチューブ2個を両側から入れ、中心近くを置く。
6. ばらの両側から目玉クリップをさし込む。
7. ばらの両端に安全キャップを付ける。



足型



足をはさむ



ばらをはさみ



安全キャップ



位置決めチューブ

＊安全キャップ、位置決めチューブはセロテープで代用できる
＊目玉クリップの外側のばらにセロテープを巻いて位置決めのしてもよい

